

子どもたちと過ごしたこの一年

先輩たちの声

「できない」を「できる」に



奈良市立辰市小学校
教諭 丸野 美咲

「できない」を「できる」に。これは、私が教員になってから、ずっと守り続けようと思った言葉です。私は4月に、初めて出会う子どもたちに思いを膨らませて教壇に立ちました。その時から今日まで、先輩の先生や保護者、沢山の子どもたちから様々なことを学ぶ日々が続いています。そんな中、「できない」ことで困っていたり、諦めてしまっている子どもたちのために「何とかしてあげたい!!」という気持ちは日毎に増していきます。そして、悩み考えながら支援を続けることで、子どもたちの「できない」を少しずつ「できた」に変えていくことができることを知りました。「できた」時の子どもたちの笑顔はとても輝いていて、見ている私もうれしい気持ちになります。そんな笑顔が沢山あふれる学級になるように、「できた」を増やしていける教員になることができるよう取り組んでいます。



「できた！」と喜ぶ子どもたちの笑顔に出会って



田原本町立田原本小学校
教諭 菅野 雄介

授業中に、「できない」「分からない」という声が聞こえてきました。私は、子どもたちが何もしないで指示を待っていると思い、子どもたちの様子を見て回ると、目の前の自分の課題に「できるようになるぞ」と果敢に挑戦する一生懸命な姿がありました。

子どもたちは、何かができるようになったとき、「できた!」という達成感を嬉しそうに伝えてきます。私はこうした日々の関わりを通して、子どもたちはみな「できるようになりたい!」という気持ちをもっていることに気付きました。

私は、子どもたちと共に学ぶ楽しさを感じ、「できた!」という達成感を分かち合い、子どもたちの笑顔を増やせる教員として、これからも頑張っています。



共に挑戦し、共に成長する



大和郡山市立郡山中学校
教諭 岡本 さくら

「なるほど!」「分かった!」という子どもたちの声を聞くために、毎日試行錯誤をしながら授業を行っています。入念に準備をしたつもりでも、予想外の質問に戸惑ったり、うまく発問ができずに反省したりすることもあります。緊張と不安でいっぱいだった1年前に比べると、子どもたちの笑顔や明るさに助けられ、少し成長できたように感じます。この仕事の大きな魅力は、「生徒と共に挑戦し、成長できること」だと思っています。授業だけに限らず、部活動や学校行事で頑張る子どもたちの姿はとても輝いています。そんな子どもたちに寄り添って、何事にも前向きに挑戦し、成長していくことができる教員でありたいと日々感じています。

